



福山北ロータリークラブ週報

RI会長メッセージ 持続可能なインパクトを生み出そう

会 長 奥野 一成 副 会 長 (会長エレクト) 和田 明久
幹 事 苅谷 友之 会 計 (副幹事) 鈴木 晴美 S. A. A. 小野 隆平

事務局 : 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル

TEL : 084-927-3980 FAX : 084-927-3985

福山北RCホームページアドレス : <http://www.fukuyamanorth-rc.jp>

★点 鐘 会 長 奥野 一成
★司 会 副会長 和田 明久
★ソング “君が代・奉仕の理想”
★ゲスト

第 2710 地区 グループ 11

ガバナー補佐 下平 靖孝 様 (福山西 RC)

ガハナー補佐幹事 瀬尾 義裕 様 (福山西 RC)

★会長挨拶



今日は朝 5 時に起きて朝から芝刈りをしました。日中はとても暑く、休みの日は山へ芝刈りに行くので、朝することにしましたが、これだけ皮膚を鍛えても、蚊には勝てません。何匹も、群がって来るので振り払いながら芝刈をしていると、太陽が昇ってしまいました。こんな日常の事をしていると、ふと熊本の人達は、本当に大変だろうと、そんなこんなで今日も引き続き熊本の地震災害の支援金の募金箱を回します。先週された方も、良かったら再度お願いします。ただ、阪神淡路大震災死者 6500 人東日本大震災死者約 20000 人それを思うと。広島の前爆投下の日は本当に凄惨な状況だったと。亡くなられた方の人数で状況を、推量することは出来ませんが… 昨日は広島の前爆記念日でした。戦争を知らない私達は、映像のみで想像するだけで経験を、していませんが、今もウクライナ、ガザ地区、イランでは実際に戦争と言うものが、行なわれています。何故ロータリーの意思、宗教、政治、利害関係を排除出来ないのでしょうか…

今日はガバナー補佐の下平さんに来ていただいております。先日クラブ協議会で話をした、会員身分、休会制度のことについても、聞いていただきたいと思っておりますので、出来るだけ多くの会員に、クラブ協議会への参加の程、宜しくお願いします。

★幹事報告

【例会変更】

*福山北 RC…9 月 11 日(金) → 10 日(木) 19:00～

福山ニューキャッスルホテル ビアホール

親睦家族夜間例会

…9 月 25 日(金) → 13 日(日) 9:00～15:00

田島漁港内浮島及び田島漁協屋内施設

アマモ種子選別・保管作業

★出席報告

○第 2583 回

会員総数 29 名 出席者数 23 名 出席率 82.14%

欠席者 濱本さん・平山さん・池田さん・近藤さん・中島さん

○第 2581 回 出席修正 同出席 78.57% 修正後 89.29%

★スマイル委員会

○事業者創立日祝 高倉範尚さん (8/10)

★スマイルボックス

○ガバナー補佐・補佐幹事さんから大きくいただきました。

○最終例会の時に急須を落札できなかったことをくやんでいたら、藤井行夫さんに頂きました。

スマイルします。 …奥野一成さん

○下平ガバナー補佐瀬尾ガバナー補佐幹事本日は御苦労様です。クラブ協議会が無事終了することを願ってスマイルします。

本日が予行演習ですけれど。 …小野隆平さん

★ロータリーの友誌紹介

会員研修・雑誌委員長 藤井好夫さん



会員研修・雑誌委員長 藤井好夫さんより、「ロータリーの友」8月号の紹介がありました。横書きのページでは、各クラブの自由な形として、空港クラブや朝食クラブなど特色あるクラブが取り上げられており(～22 ページ)、例会づくりの参考になります。続いて台北国際大会のハイライト(～19 ページ)、米山記念奨学会の基礎知識、RI の本年度理事会・委員会構成、国際およびゾーンの委員名などが掲載されています。

縦書きのページでは、京都で交通事故により娘さんを亡くされた方の手記が心に残ります。「車の運転にはくれぐれも気をつけて」という思いが綴られており、加害者にも被害者にもなり得る私たちに、ぜひ読んでいただきたい一編です。あわせて7 ページからは、人手をかけず堅実な経営を柱に営業へ活かす企業の記事があり、企業経営の参考になります。

藤井委員長からは、特にこの交通事故の手記に目を通してほしいと。

来月、8月号の感想をお聞かせいただきたいとのことです。

そして福山北ロータリークラブ活動計画書5 ページに掲載されている脇ガバナーのプロフィールも、次回のガバナー公式訪問に備えて読んでおいてほしいとの案内がありました。

★プログラム

ガバナー補佐卓話 下平靖孝様



2026-27 年度 ガバナー補佐卓話

国際ロータリー第2710地区
G11 ガバナー補佐

下平 靖孝

自己紹介

- ・1964年生まれ
- ・岡山市生まれ、福山市育ち
- ・福山大学卒業

学生時代

ゴルフとの出会い・学んだこと

- ・努力と継続・基本の大切さ
- ・仲間との絆・挑戦する姿勢

第1 始めに 今年度、ガバナー補佐を務めることになりました、福山西ロータリークラブの下平靖孝と申します。よろしくお願い致します。はじめに、自己紹介をさせていただこうと思います。私は、1964年生まれの現在61歳です。岡山市で生まれ、福山育ちです。最終学歴は福山大学です。この頃から本格的にゴルフを始めました。ゴルフを通して私が学んだのは、「努力を続けること」「基本を大切にすること」「仲間との絆」、そして「挑戦し続ける姿勢」です。これらの教訓は、今も私の人生の大切な指針となっています。仕事はもちろん、日々の生活においても、この教訓を胸に一つひとつのことに全力で取り組んでいます。

会社紹介

下平管材株式会社



- ・昭和41年1月に下平商会として創業
- ・今年で創業60周年
- ・現在従業員18名
- ・平成6年に岡山営業所を出店

第2 職業 次に私の職業についてお話をしておきます。
現在、私は、下平管材株の代表取締役を務めています。
弊社は、私の父が昭和41年1月に下平商会として三吉町にて創業した個人事業が前身で、今年で60周年を迎えます。社業の拡大に伴って、平成元年8月には三吉町から南蔵王の地に移り、お陰様で現在も南蔵王で営業を続けています。また、業務拡大に伴い、平成6年には岡山営業所を開設しています。

事業内容

- ・住宅設備機器
- ・管材
- ・主要メーカー



・株式会社カクダイ・ミヤコ株式会社
・株式会社KVK・SANEI株式会社
・株式会社タカ

・TOTO株式会社・株式会社LIXIL
・タカスタンダード株式会社・クリナップ株式会社
・株式会社ハウステック・パナソニック株式会社



具体的な業務としては、管工機材、住宅設備機器、生活関連商品の販売が中心であり、水道工事店・設備店・工務店が主な取引先となっています。ご承知のとおり、最近、中東情勢の影響でナフサ関連の商品が入荷せず、入荷制限がかかっている、今年の4月以降は厳しい事業状況が続いていますが、この困難な状況を克服し前向きに取り組んでいます。

《ロータリー歴》



ロータリー活動

2002年7月30日 入会

2019-2020年度 会長

2024-2025年度 創立35周年実行委員長

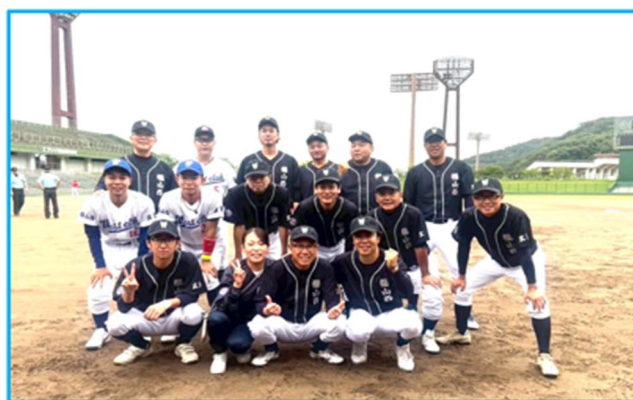
各奉仕委員長、SAA、会計 等

第3 ロータリー経歴 私は2002年7月30日にロータリーに入会しました。2019-20年度に会長を務めさせていただき、2024-25年度にはクラブ創立35周年事業の実行委員長を拝命しました。この他、各奉仕委員会の委員長を複数回担当しています。

2024-2025年度 35周年記念行事



同好会活動



【第13回 天野杯 優勝】

2026-27年度 RI会長



オンラインカ・ハキーム・ババロラ
トランス・アマディ・ロータリークラブ所属
ナイジェリア・リバーズ州

RI会長メッセージ

Create Lasting Impact

持続可能なインパクトを生み出そう

持続可能な
インパクトを
生み出そう

RI重点目標

- ①エンドポリオの遂行
- ②平和フェローの支援強化
- ③世界で会員増強を2030年には125万人達成

第4 RI会長メッセージと地区運営方針 さて、2026-27 年度のRI会長メッセージと当地区の運営方針について、順番にご説明します。

(1) RI まず 2026-27 年度RI会長は、オンラインカHババロラさんで、ナイジェリアの方になります。もともと、アメリカの大手石油会社で働かれていましたが、現在は自身で会社を営まれています。

ババロラ会長が掲げられたテーマは、「CREATE LASTING IMPACT (持続可能なインパクトを生み出そう)」です。これは、一時的な活動ではなく、地域社会や世界、そして自分自身に長く続く良い影響を残していこうというメッセージです。また、その実現のため、RIでは大きく3つの重点項目を掲げています。まず一つ目は、エンドポリオ活動の継続です。従来からの活動の結果、ポリオ根絶まであと一歩という状況だからこそ、最後まで支援を続けることが求められています。二つ目は、平和への取り組みです。世界各地で紛争が続く今だからこそ、ロータリーは平和フェローを育成し、平和づくりへの支援を強化していきます。三つ目は、会員増強です。2030年にロータリーは創立125周年を迎えます。それまでに世界の会員数を125万人とすることを目標としており、各地区・各クラブも過去最高の会員数を目指して取り組むことが期待されています。ババロラ会長は会員増強にはとりわけ力を入れられており、2030年までにロータリー会員を現在の115万人から125万人へ増やすため、地区とクラブは過去5～7年間の最高の会員数を調べ、その人数を目標に、各クラブが年間2～3人の会員増強を目指し、会員の退会防止に努めてほしいとしています。各種の奉仕活動やロータリー財団・米山奨学会への支援を続けていくためにも、会員増強は非常に重要な目標となります。

2026-27年度 第2710地区 ガバナー



〔氏 名〕 脇 和也
(わき かずや)
〔所 属 クラブ〕 宇部ロータリークラブ
〔生 年 月 日〕 1952年12月9日
〔職 業 分 類〕 新 聞 発 行

ガバナー信条

「和と絆」

With One Heart (心一つに)

インパクトを生み出すために親睦で培った「和」と、奉仕で育んだ地域社会との「絆」を大切にしながら、クラブが心一つにして持てる資源を十分に発揮することを目指します。

(2) 地区 続いて地区の活動についてお話しします。第2710地区の当年度ガバナーである脇和也さんは山口県宇部市の出身で、宇部日報社という新聞会社の会長であります。まもなくロータリー歴30年を迎えられる方です。当年度のガバナー信条は、「和と絆 ～With One Heart～(心1つに)」です。会員が心一つにし、親睦を深め、奉仕活動を充実させることで、地域から信頼されるクラブを目指します。奉仕が充実すると、地域とのつながりが深まり、ロータリーの魅力が伝わります。その結果、新しい仲間が増え、さらに奉仕活動が充実する。このような好循環を地区全体でつくっていくということです。続いて、当年度の地区運営方針は、「行動と実践の重視」です。具体的な推進事項としては、

親睦の深化(Enjoy Rotary)

例会の充実

会員、特に新入会員の居場所の確保
あらゆるハラスメントの排除
戦略的オープン例会の推奨
RLIへの参加
マイロータリーの活用

「和」

地域社会とのつながりの強化

ポリオ根絶へ向けた継続的な支援
環境保全や平和構築プロジェクトの推奨
青少年の交流と健全育成の支援
クラブ基盤の強化
(3Years Rolling Goalsの推進)

「絆」

まず、和として、会員同士の親睦を深める魅力ある例会づくり 新会員の居場所づくりオープン例会やメンター制度の推進RLIへの積極的な参加危機管理体制の徹底 マイロータリーの活用など、クラブ運営の基盤強化を掲げています。また、絆として、地域社会との連携 エンドポリオ活動 環境保全 平和プロジェクト 青少年育成 など、ロータリーらしい奉仕活動の充実を掲げています。さらに、各クラブの目標として、会員増強はもちろん、ロータリー財団への寄付 ポリオプラス基金への支援 米山記念奨学会への協力 マイ

ロータリー登録の推進などを掲げています。

最後に、今年度は、地区大会やRLI、クラブリーダーシップ・ラーニングセミナーなど多くの学びと交流の機会が予定されています。こうした機会を積極的に活用され、クラブ運営や奉仕活動に生かしていただきたいと思います。

会員増強について

5～7年間で最高の会員数を調べその数を目指とするよう推奨する。

※当地区の過去5～7年間の最高は2019年の3,294人。想定としてクラブが年間2～3人の会員増を目指していく。

第5 会員増強について パシパロ会長は会員増強にはとりわけ力を入れられており、2030年までにロータリー会員を現在の115万人から125万人へ増やすために各地区、各クラブへの会員増強を期待されています。しかし、2710地区においては会員数の減少が顕著でありG10においては韮の浦RCが解散いたしました。またG11においても各クラブの会員数の減少が認められています。会員増強も必要ですが退会防止、なぜ退会者が増加したのか原因について皆様と協議し、ガバナーへ報告したいと思います。

ガバナー補佐として、地区とクラブの架け橋となり、皆様とともに一年間活動してまいります。
ご協力の程よろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました

第6 結語 これまで述べてきたように、今年度のキーワードは「CREATE LASTING IMPACT（持続可能なインパクトを生み出そう）」、「和と絆 ～With One Heart～（心をつに）」です。私たち会員一人ひとりが心をつにし、地域社会に持続可能な良い変化を生み出していくことが、ロータリーの未来につながります。微力ながら、皆様とともに、実り多い一年を築いていきたいと思いますので、何卒、ご協力のほど宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

★ガバナー補佐訪問 クラブ協議会



例会終了後、ガバナー補佐・下平靖孝様、補佐幹事・瀬尾義裕様(いずれも福山西 RC)をお迎えし、クラブ協議会を開催しました。8月21日のガバナー公式訪問に向けた予定として、会長方針および各委員会の年度方針を共有し、協議事項について意見交換を行いました。





奥野会長より、本年度方針「進化のための行動と実践」のもと、アマモ育成、拳川岡学園への支援(福山西 RC と連携)、芦田川・桜つづみの清掃を活動の柱とし、会員増強と新入会員研修を重点的に進めたいとの説明がありました。

会員組織委員会(荒金委員長)からは、会員増強を最大の課題と位置づけ、新入会員にロータリーの基本を学んでもらいながら、オープン例会・家族例会にも前向きに取り組む方針が示されました。会員増強委員会(三好委員長代理)からは、まず自分自身が楽しみ生き生きと活動すること、女性会員の増強を図りたいが会費が課題であること、他クラブのオープン例会の工夫を学びたいとの発言がありました。

会員研修・雑誌委員会(藤井好夫委員長)からは、100%出席やメイクアップの考え方が時代とともに変化する中で、先輩から受け継いだロータリーの精神を若い世代へどう伝えるかが課題であり、前期中に研修会を開きたいとの方針が示されました。

例会運営委員会(坂本委員長)からは、クラブの中心である例会を魅力あるものにし、他クラブの卓話内容を共有して相互に参加・交流したいとの提案がありました(福山西 RC が10月6日に帝国データバンクを招く例会を予定)。公共イメージ委員会(濱本委員長・代理報告)からは、受け手に分かりやすくシンプルな発信を心がけ、認知度とイメージの向上・新入会員の増加につなげること、AIの活用と個人情報管理の徹底の2点に注力する方針が示されました。親睦スマイル委員会(坂田委員長)からは、季節ごとに少人数でも気軽に集える食事会を平日夜に数多く設け、親睦を深めたいとの方針が示されました。

奉仕プロジェクト委員会からはアマモの種子選別(9月)やバーベキューを兼ねた活動、海洋少年団・英数学館・こぶしヶ丘との連携が、国際奉仕委員会からは南ソウル RC70周年行事への参加が報告されました。ロータリー財団委員会(藤井行夫委員長)・米山記念奨学委員会(高倉委員長)からは、

10月の米山月間を含め、各支援へのご協力をお願いがありました。SAA(小野委員長)からは、まず自身が例会に必ず出席し、会員の声を聞きながら会場設営に努めたいとの方針が示されました。

協議事項として、①会員増強と退会防止、②ハラスメント・危機管理への対応(会員研修委員会内に危機管理委員会を細則へ位置づけ)、③クラブの強みである親睦の維持と松永 RC 等との合同例会の継続、④100%出席・メイクアップの枠組みの明確化、⑤広報が届きにくい現状の改善(良い事業を確実に発信できる仕組みづくり)が話し合われました。

公式訪問の予行として、ガバナー補佐へ次の質問が出されました。「奉仕クラブの新しい形における“例会出席は必須とせず”の解釈は、クラブ・個人のどちらに委ねられるのか」「家族会員・法人会員・奉仕活動のみ参加する会員制度は認められるのか、世界的な方針か・地区の方針か」「メイクアップの対象範囲の枠組み」「他クラブの SAA の運営例」など。下平補佐からは、いずれも持ち帰り、ガバナーへ確認のうえ公式訪問時に回答するとの回答がありました。

下平ガバナー補佐からは、他クラブのメイクアップに参加すると学びが多いこと、親睦委員会の食事会是他クラブでも前年度会長・幹事が年1回企画している例があることなどの助言をいただきました。8月21日のガバナー公式訪問が本番となりますので、多くの会員のご出席をお願いいたします。

8/21(金) ガバナー公式訪問

ガバナー 脇 和也 様
 随行幹事 神谷 晃 様
 ガバナー補佐 下平 靖孝 様
 補佐幹事 瀬尾 義裕 様
 ガバナー卓話 脇 和也 様
 プログラム 予定

8/28(金) 取消 定款第7条第1節(d)

9/ 4(金) ロータリー友誌紹介
 RLI受講報告 佐藤洋二さん
 9/10(木) 納涼家族夜間例会 19:00～
 福山ニューキャッスルホテル
 ビアホール
 9/11(金) 9/10(木)に例会変更
 9/13(日) アマモ種子選別 9:00～15:00
 田島漁港内
 9/18(金) クラブ協議会(会員制度)
 9/25(金) 9/13(日)に例会変更